

防災教育を進めるにあたって

黒潮町立大方中学校

西本 貴俊

1. 防災教育のスタート

2012年4月佐賀中学校に赴任して
高知県防災教育実践アドバイザー事業
同僚教師の怒りが出発点

2. 実践的防災教育推進事業の取組

保小中の連携
避難訓練の工夫
防災教育の教育課程への位置づけ

3. 実践の中から見えてくる課題

◎家庭での非常持ち出し袋の準備は？

非常持ち出し袋を学校が生徒数＋教職員数配布⇒避難場所の防災倉庫へ保管

◎引き渡しカードを手間のかからないものにするには？

名刺サイズの引き渡しカードを配布⇒本年度より従来型の引き渡しカードに変更

◎耐震工事の進まない住宅

校内の倒壊物の固定⇒倒壊物への備え

◎その他

ヘルメット設置場所の検討

防災倉庫に入れておきたい物の整備

(新聞紙、ダンボール、ブルーシート、簡易トイレ等)

◎他地域との交流

伊与喜地区に受け入れをお願いしなければならない現状

◎防災委員会を立ちあげる⇒ボランティア、避難訓練や防災教育の進め方を考える、

地域防災との連携⇒生徒主体の活動

4. 教職員の意識改革

温故知新ではなく斬新な発想で総合的な学習を見直す

教職員のベクトル合わせと推進リーダーの育成

管理職の意識改革と教職員の意識改革

全員で取り組む息の長い防災教育の創造

生徒・教職員・保護者・地域で取り組む防災教育の創造

5. 命の防災教育⇒子どもたちが輝く学校生活へ

郷土愛を大切に⇒コミュニティーの形成